

正 答 表

数 学

(8-立)

1		点
(問1)	-44	6
(問2)	5 通り	6
(問3)	$\frac{7}{15}$	6
(問4)		7

2		点
(問1)	-3	7
(問2)	【途中の式や計算など】	11

直線 $l: y = \frac{5}{2}x + \frac{3}{2}$... ① について、
 点 $A(t, t^2)$ は直線 ① を通るから、 $t^2 = \frac{5}{2}t + \frac{3}{2}$
 よって、 $2t^2 - 5t - 3 = 0$
 $t = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \times 2 \times (-3)}}{2 \times 2}$
 より、 $t = -\frac{1}{2}, 3$
 ただし、 $t < 0$ であるから、 $t = -\frac{1}{2}$
 点 $C(-\frac{3}{2}, \frac{9}{4})$ は直線 ① を通るから、
 $\frac{9}{4} = \frac{5}{2}(-\frac{3}{2}) + \frac{3}{2}$ よって、 $a = -1$
 このとき、曲線 g の式は、 $y = -x^2$ 、2点 O, A を通る直線の式は、 $y = -\frac{1}{2}x$ となる。
 点 $C(-\frac{3}{2}, -\frac{9}{4})$ を通り、傾き $-\frac{1}{2}$ の直線の式を $y = -\frac{1}{2}x + b$ とおくと、代入して、
 $-\frac{9}{4} = -\frac{1}{2} \times (-\frac{3}{2}) + b$ よって、 $b = -3$
 したがって、点 $C(-\frac{3}{2}, -\frac{9}{4})$ を通り、
 傾き $-\frac{1}{2}$ の直線の式は、 $y = -\frac{1}{2}x - 3$... ②
 点 E は $y = -x^2$ 上の点であるから、 $E(s, -s^2)$ と表すことができる。点 E が、直線 ② を通るから、
 $-s^2 = -\frac{1}{2}s - 3$ より、 $2s^2 - s - 6 = 0$
 $s = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 2 \times (-6)}}{2 \times 2}$ より、
 $s = -\frac{3}{2}, 2$ 点 C の x 座標が $x = -\frac{3}{2}$ であるから、点 E の x 座標は 2 となる。② に $x = 2$ を代入すると、 $y = -4$
 したがって、点 E の座標は、 $(2, -4)$

(答え) $(2, -4)$

(問3)	$y = -\frac{11}{4}x$	7
------	----------------------	---

3		点
(問1)	$2 + \sqrt{3}$ cm	7
(問2)	【証明】	11

仮定から、
 $AD \perp BC, BF \perp AC$ であるから、
 四角形 $CFGD$ において、
 $\angle CDG + \angle CFG = 90^\circ + 90^\circ = 180^\circ$
 四角形の内角の和は 360° であるから、
 $\angle DGF + \angle DCF = 180^\circ$
 したがって、
 $\angle DCF = 180^\circ - \angle DGF = \angle BGD$... ①
 \widehat{AB} に対する円周角は等しいから、
 $\angle ACB = \angle BED$... ②
 ①、②より、 $\angle BED = \angle BGD$
 $\triangle BEG$ において、
 2つの角が等しいから、
 $\triangle BEG$ は二等辺三角形である。
 したがって、
 $BE = BG$

(問3)	18π cm ²	7
------	-------------------------	---

小計1	小計2	小計3	小計4
25	25	25	25

4		点
(問1)	$2\sqrt{13}$ cm	7
(問2)	(1) 【途中の式や計算など】	11

$HM = 2\text{cm}$ より $CM = 4\text{cm}$, $AB = BC = CM, AB \parallel CM$ より、
 四角形 $ABCM$ はひし形である。 $\angle ABC$ は正六角形の1つの内角だから、
 $\angle ABC = 120^\circ$ である。
 よって、
 $\angle CBM = \angle ABM = 60^\circ$
 ゆえに、
 $\triangle BCM$ は正三角形で、
 $BC = CM = BM = 4\text{cm}$ である。
 四角形 $ABCM$ の対角線の交点は中点で交わるので、
 $BN = MN = 2\text{cm}$ である。
 $\triangle BNP$ において、
 $\angle NBP = 90^\circ$ であるから、
 三平方の定理より
 $NP = \sqrt{2^2 + 6^2} = 2\sqrt{10}$ (cm)
 $\triangle JKP$ において、
 $\angle KJP = 90^\circ$ であるから、
 三平方の定理より
 $KP = \sqrt{2^2 + 4^2} = 2\sqrt{5}$ (cm)
 よって、
 $KP + NP = 2\sqrt{10} + 2\sqrt{5}$ cm

(答え) $2\sqrt{10} + 2\sqrt{5}$ cm

(問2)	(2) $V : W = 7 : 40$	7
------	----------------------	---

合計得点	100
------	-----